

●平成 29 年（2017 年）の日本の地震活動

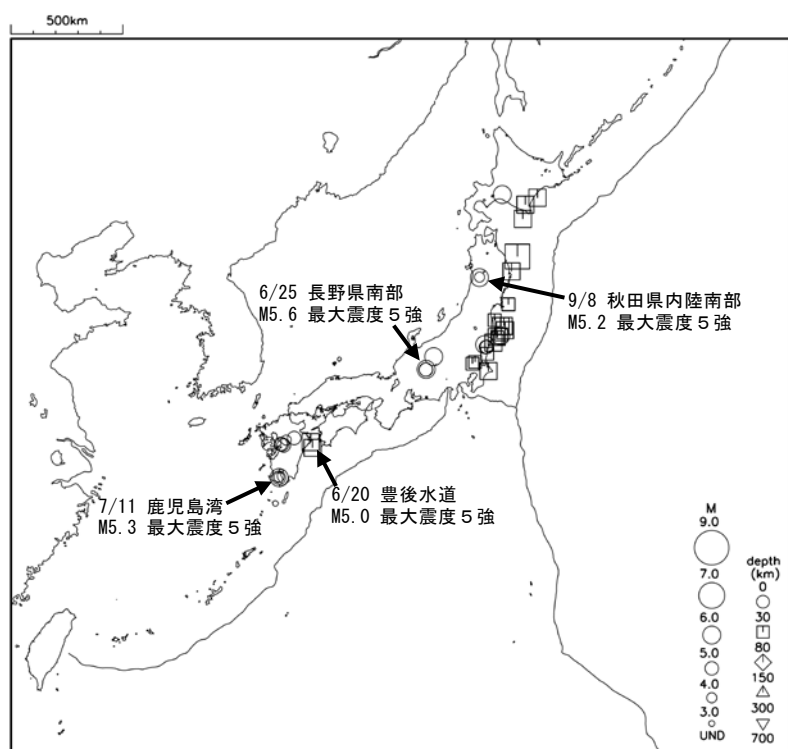


図 1 平成 29 年（2017 年）に最大震度 4 以上を
観測した地震の震央分布図
最大震度 5 強以上を観測した地震に矢印をつけた

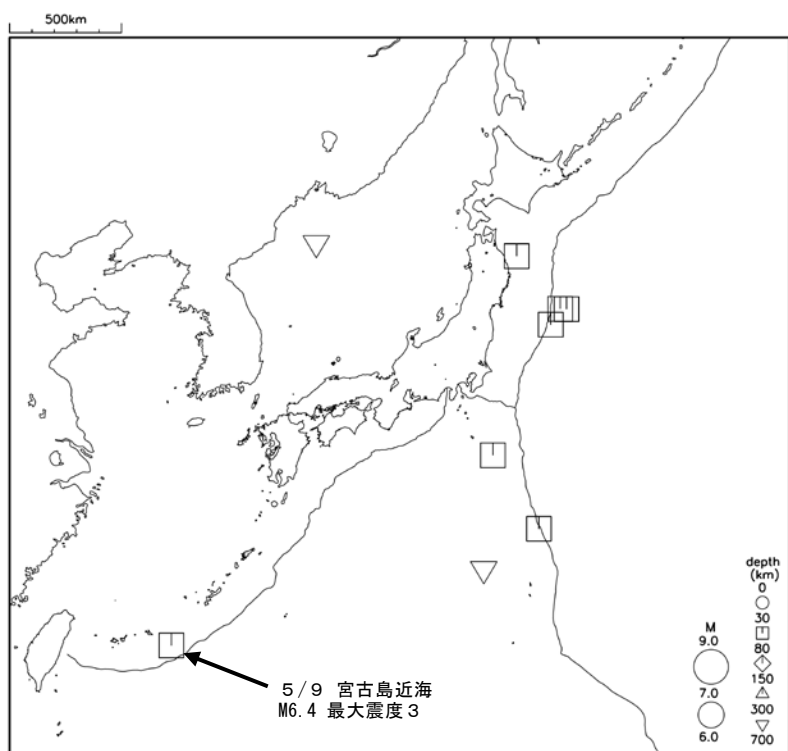


図 2 平成 29 年（2017 年）に発生した
M6.0 以上の地震の震央分布図
2017 年中で最大規模の地震に矢印をつけた

〔概況〕

2017 年に国内で被害を伴った地震は 5 回（2016 年は 7*回）発生した（被害状況は、総務省消防庁による。以下同様）。

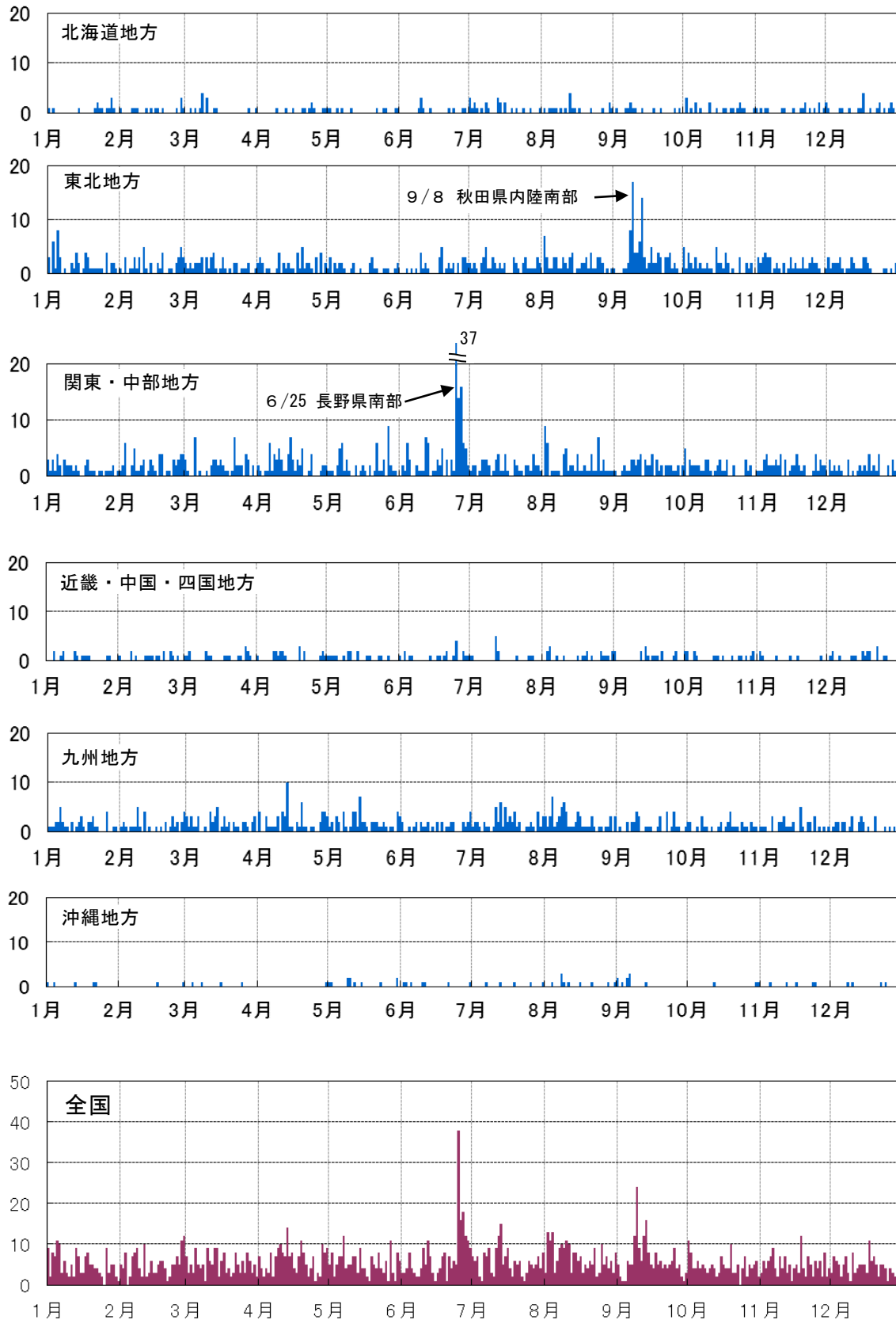
死者・行方不明者を伴った地震は、なかった（2016 年は 1*回）。

震度 1 以上を観測した地震は 2,025 回（2016 年は 6,587 回）で、最大震度 4 以上を観測した地震は 40 回（2016 年は 192 回）、最大震度 5 弱以上を観測した地震は 8 回（2016 年は 33 回）であった。2017 年中に観測した最大の震度は 5 強で、図 1 中の矢印で示した 4 つの地震であった。震度 6 弱以上を観測する地震はなかった。

M6.0 以上の地震は 9 回（2016 年は 27 回）発生した。過去 92 年間の地震回数の中央値が 16 回で、2017 年の地震回数が過去の地震回数の下位 10%に相当することから発生回数はかなり少なかったといえる（図 4）。M7.0 以上の地震はなかった。これは 1997 年以来で、20 年ぶりであった。2017 年中で最大規模の地震は、5 月 9 日に発生した宮古島近海の地震（M6.4）であった（図 2）。

日本で津波を観測した地震（海外で発生した地震を含む）はなかった（2016 年は 2 回）。1 年間に 1 回も津波を観測しなかったのは 1988 年以来で、29 年ぶりであった（図 4）。また、津波注意報、警報の発表はなかった。これは 2000 年以来で、17 年ぶりであった。

* 2016 年 4 月 14 日以降に、熊本県から大分県にかけて発生した一連の地震活動（「平成 28 年（2016 年）熊本地震」）により生じた被害については 1 回として扱った。



2017 年の 1 年間に
最大震度 4 以上を
観測した地震回数
（最大震度別）

最大震度	回数
4	32
5 弱	4
5 強	4
6 弱	0
6 強	0
7	0
合計	40

図 3 平成 29 年（2017 年）に震度 1 以上を観測した日別回数（全国及び各地方別）

6 つの地方（北海道地方、東北地方、関東・中部地方（三重県を含む）、近畿・中国・四国地方、九州地方及び沖縄地方）に分割した。

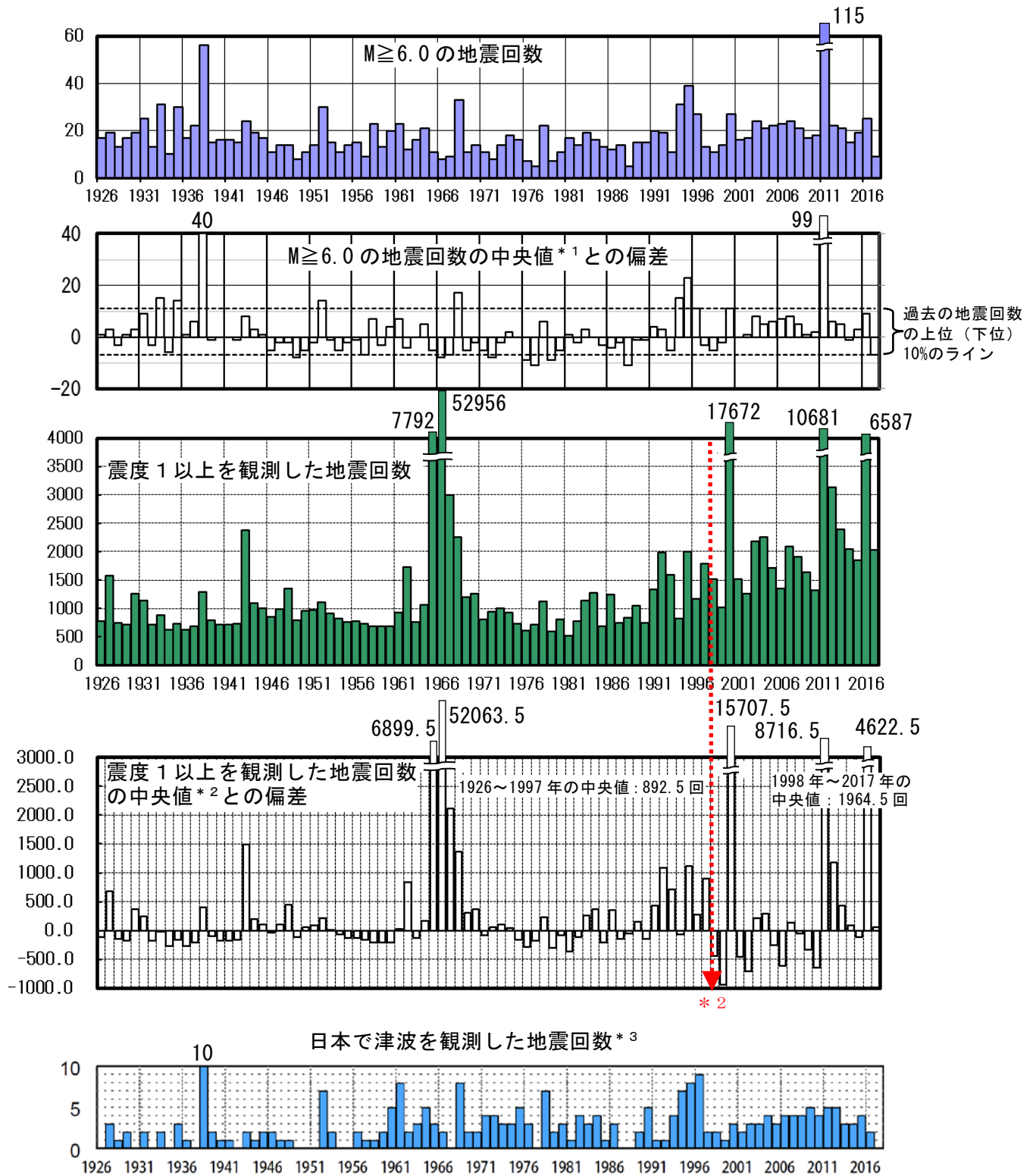


図 4 全国の $M \geq 6.0$ 、震度 1 以上及び津波を観測した年別地震回数（1926—2017 年）

- * 1 $M \geq 6.0$ の過去 92 年間（1926—2017 年）の中央値は 16 回／年であった。
- * 2 震度 1 以上を観測した地震の回数を比較するにあたっては、近年、震度観測点が増えたことを考慮する必要がある。ここでは、地方公共団体の震度計のデータを活用開始した時期（1997 年 11 月）を考慮し、1998 年を区切りとして、その前後で各々中央値を求めて比較した。なお、中央値からの偏差が大きい 1965～1967 年には松代群発地震、2000 年には新島・神津島の地震活動、2011 年には「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」、2016 年には「平成 28 年（2016 年）熊本地震」が発生している。
- * 3 海外で発生した地震を含む。また、過去の津波を観測した地震回数については、津波の観測点数や観測手法等が異なるため、一概に比較することができないことを考慮する必要がある。